

西東京会通信

第16号



御殿場から桜に富士山

『新年度を迎えて』

代表幹事 塩山哲郎



今年は桜の開花が記録的に早く、会員の皆様も満開の桜を楽しまれた事でしょう。新型コロナの感染状況が落ち着きを見せ、マスク着用も任意となり人の動きもコロナ禍前に徐々にではありますが戻りつつあることを実感しております。WBCでは侍ジャパンが米国の連覇を阻み14年ぶりに世界一に

輝き、国民に感動と元気を与えてくれました。MVP に二刀流の大谷翔平選手が選ばれましたが、世界一を決めマウンドで喜びを爆発させた彼の姿に会員の皆様も感動されたものと思います。JARP（日退協）は昨年秋に会員相互の交流、親睦を目的とした「はつらつふれあいの集い」が3年ぶりに再開され、3月には小規模ではありますが「チャリティーサロンコンサート」を開催、各地域会のイベントも活発化してコロナ禍前に戻りつつあります。JARPの新年度の目標として、SDGs 協働活動への取り組みに加え、「フレイル」防止活動を積極的に取り組んでいくことを掲げています。「フレイル」とは健康状態と要介護の中間にある虚弱な状態（老化）を指します。「フレイル」対策の3本柱は「栄養」、「運動」、「社会参加」と言われています。食事を楽しむこと、散歩するなど運動を心掛ける事、人の繋がりを大切にする事、そして積極的に社会参加する事が「フレイル」防止に繋がります。JARP は従来からの社会貢献活動、会員が参加するイベント、野外サークル活動、文化サークル活動、地域会活動は会員自身を含めて「フレイル」防止にも役立っています。新年度は「フレイル」防止に焦点を当てて、それぞれの活動の見直しを行い「フレイル」に特化したサークル活動や講演会、講習会を企画する方針です。西東京会のイベントは、5月に「新緑の秋川溪谷散策と温泉瀬音の湯を満喫する会」、8月には「寄席・落語鑑賞会」を企画しております。

会員の皆様には是非ご友人をお誘いあわせの上ご参加頂きます様お願い申し上げます。



昨年の6月まで四〇年以上保険代理店に勤務いたしました。退職後は生きる意義を自ら探さずべく、アリティタリですがゴルフ・読書、何か楽器でも習いたい、家の不具合も直そう、月一回ぐらいは旅行にも行こうなどと張切っておりますが、退職後の気の緩みからか一気に体調不良が噴き出し、病院5〜6カ所に通う始末。実行しようと目論んでいた殆どはYou Tubeでのバーチャルの世界で済ませ、現在一番の趣味はインターネットの広野に迷い込む事となっております。元来面倒くさがり屋、何事も広く浅くのタイプで、今更ながらしつかりと身に付いたものが特になく、少し気落ちしているところですが、これからは細く長く生きようと考えておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



9月に西東京会に入会し、「親睦ゴルフ会」、「はつらつふれあいの集い」等イベントに参加、入会後は西東京会の世話人として毎月の定例会に参加させて頂いております。「心にゆとりがあり穏やかな大先輩方」というのが西東京会の皆様への印象です。これまで会社ではほぼ最年長でしたが、この度また若手となることができましたので心機一転、会のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

「西東京会入会のご挨拶」

国分寺市 中村英明



西東京会世話人一覧表

| | | | |
|-------|---------|----|------------------|
| 代表幹事 | : 塩山哲郎 | 幹事 | : 出射義幸、小野利明、谷合幸江 |
| 副代表幹事 | : 安藤隆夫 | | : 中村英明、西納政光、橋本隆夫 |
| 会計 | : 遠間ひで子 | | : 比留間文子、福島龍郎、 |
| 書記 | : 恒成憲一 | | : 松崎敏夫、湯藤哲、吉本優子 |
| 広報 | : 西村修 | | |
| HIP担当 | : 岸伸和 | | |

「神代植物公園の梅まつりに行ってきました」



小金井市 出射義幸

二月二十八日絶好の晴天のもと、西東京会企画の「神代植物公園」に梅の花を見に行ってきました。当日三鷹駅から集合バ

スに乗ること約三〇分、「神代植物公園」に到着。参加者は二十三名でした。「神代植物公園」は三鷹市に所在する東京都立の植物園です。広大な園内には「うめ園」・「さくら園」・「ばら園」・「しゃくなげ園」・「はなみずき園」・「はなしようぶ園」など他多数の植物ごとの「園」があり、季節を問わず、数多くの植物が楽しめます。桜は四月、花しようぶは五月でしょうか？リピーターとしての訪問も企画できそうです。ところで訪問日は丁度、同公園の「梅まつり」が開催中でした。公園入口から同公園内の梅以外の色々な花を見ながら、また皆さん談笑しながら、広い公園内を「うめ園」まで約三十分三々五々の行軍？しました。我々のような集団には丁度宇良い運動でした。「うめ園」までの途中には「蠟梅」に似た「サシユユ」という花がありました。知らないことは幾つになってもあるものです。いよいよ「うめ園」に着。「うめ園」にはこれぞとばかり様々な「梅」が数多く植えられていました。ここでも知らない、また初めて見る梅が沢山ありました。「うめ園」で暫くの観梅後、ほぼ全員での「記念写真」を撮りました。うめ園の後は隣接する「深大寺」に行きました。深大寺は「三鷹の代名詞的な印象の通り立派な造りで「深大寺」の後はほぼ全員で楽しい談笑会になりました。



「観桜会開催報告」

西東京市 恒成 憲一



去る、風薫る4月4日の良き日に西東京会主催の観桜会が都立小金井公園にて開催されました。透き通るような青空の元、17名の善男善女が集い、春の訪れを堪能致しました。時期的に観葉桜会になるのかなと心配しておりましたが、桜たちは健気にも、まだまだ私たちのために一生懸命咲き誇ってくれておりました。今回の世話役出射さんからは、全員に桜餅のご提供があり、餅が花を添えました。感謝です！また、たまたま通りすがりの着物美人に集合写真を撮って頂く幸運にも恵まれ、一層華やいだ雰囲気になりました。今的小金井公園には、桜は勿論、菜の花、チューリップ等々の花々が咲き乱れ、更に江戸東京たても園では、多くの江戸・東京の歴史的価値ある建物が鑑賞できます。今回参加されなかった方々は残念でしたが、次回は是非この幸福感を共有致しましょう！ここで一句「葉桜に 我が毛を思うせつなさよ」お粗末！



「我が家」と「保護犬」

三鷹市 湯藤 哲



昨年末、満82歳となった折、人生の最後の区切りの一つとして保護犬を引取り、雄の「トイプードル」が我が家にやってきました。名前は既につけられていた「ポッキー」です。家庭を持ってから5匹目のワンチャンです。どの犬も我が家で天寿を全うし、それぞれが、我が家、我が人生に潤いを与えてくれました。保護犬に関わられた方々は大勢おられると思いますが、私共は初めての経験でした。保護犬業界の状況をネットで先ず調べた上で実態の見学をもしました。結果、斡旋業者の実態のかなりのひどさにはショックを受け、一時は断念もしましたが、そんな折、ご近所から情報提供や励ましの応援を頂き、某保護協会に辿り着きました。そこは大変しっかりしたところで我が家についても色々調査を受け、一定のトライアル期間を経て我が家の一員となりました。「ポッキー」の生い立ちは不明です。年令は推定十才(人間年令で60才代)です。一年間の保護センターの生活は明白ですが、それ以前の生い立ち、経験、は全て不明です。それこそが互いに手さぐりの付き合いのスタートでした。「ポッキー」は、センターでのメンテナンスが良かったのか、大変性格が良く、健康面、躰も安心して見ていられます。我が家の一員となり約半年、今はすっかり心底打ち解けて暮らしています。この子と共に人生最後のコーナーを共に過ごして往く所存です。



「西東京会通信」編集責任者及び問い合わせ先

公益社団法人 日本産業退職者協会
「西東京会」 代表幹事 塩山 哲郎
事務局 西村 修 090-8331-4448
may40love@jcom.zaq.ne.jp